



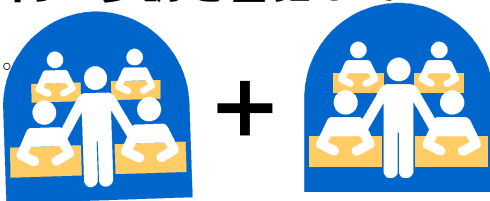
輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

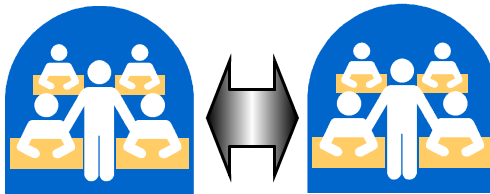
学年間交流の推進（学年合同授業・担任交換した活動） ～複数目をこどもたちをみる／

友達の広がり／学年同一歩調を目指して～

これまで、学校においては、体育や各種行事などでは、「学年」が一緒になって活動する場面はたくさんありました。これは、もちろん活動・学習内容が同じであり、集団の人数が増えても、複数教員で対応した方が、効率的であったり、学習内容が定着したりするというメリットを考え行われてきた活動でした。



+



今年度は、さらに学年間の交流を推進していこうと考えています。具体的には、これまで行われてきた合同での体育や行事に加え、日常的な授業や生活の場面でも、合同で行ったり、担任を入れ替えて行うなどの活動を推進していきます。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「3密の回避」は大前提にしています。）もちろん、こどもたちにとって「学級」が学校生活の基盤であることは替わりませんので、交流はあくまでも短時間しますが、通年での活動、当たり前のような活動になることを想定しています。

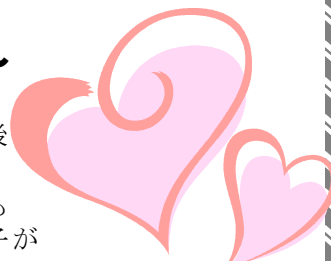
この交流活動には、以下のような目的があります。

- 複数の教員の目でこどもたちを見ることで、こどもたちのよさや変化に気づくこと。（学級の児童はもちろん、同学年の他学級の児童の様子を把握すること）
- こどもたちの交友関係を広げること
- 学年同一歩調で指導を進めること 等

朝の学習「補充の時間」であったり、道徳の時間であったり、1～2時間程度の短い単位であったり、学年での集会であったり・・・学年によって取り組みは様々にになりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

学校生活の一コマから～素直な子どもの心に感動～

先日、避難訓練を実施した旨を、学校だよりで紹介させていただきましたが、避難訓練後にこんな出来事がありました。実は、避難訓練直後の「校長の話」の中で、「こどもたちの中にお話をしながら避難していた子がいたこと、真剣さが足りない」と言うことを命に関わるということもありちょっときつい口調で話したのです。その後の休み時間、ある女の子が校長室の近くでうろうろ・・・どうしたのかなと思って話しかけると、その女の子は・・・



女の子「校長先生・・・ごめんなさい。私、避難訓練の時、お話してしまいました。もうしません。」

校長「そうだったの。よく言いに来てくれましたね。ありがとう。勇気がいったでしょう。これから気をつければ大丈夫だよ。「命」大事にしようね」

子どもの素直な心・言葉に感動です。こんなにも純粋なこどもたち。さらに愛おしくなった瞬間でした。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線